

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

車輛運搬具及び工具・器具備品…定額法によっている。

#### (2) 引当金の計上基準

##### 〈退職給付引当金〉

職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	60,000,000			60,000,000
小 計	60,000,000	0	0	60,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	53,870,000	4,070,388	0	57,940,388
減価償却引当資産	5,028,335	426,626		5,454,961
小 計	58,898,335	4,497,014	0	63,395,349
合 計	118,898,335	4,497,014	0	123,395,349

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	60,000,000	(40,000,000)	(20,000,000)	—
小 計	60,000,000	(40,000,000)	(20,000,000)	0
特定資産				
退職給付引当資産	57,940,388	—	—	(57,940,388)
減価償却引当資産	5,454,961	(0)	(5,454,961)	—
小 計	63,395,349	(0)	(5,454,961)	(57,940,388)
合 計	123,395,349	(40,000,000)	(25,454,961)	(57,940,388)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	取得価額				減価償却累計額				当期末残高
	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	前期末残高	当期増加額	当期減少額	償却額累計	
車輛運搬具	12,892,305	0	0	12,892,305	12,062,693	414,800	0	12,477,493	414,812
工具器具備品	7,763,156	0	0	7,763,156	7,711,094	11,826	0	7,722,920	40,236
合計	20,655,461	0	0	20,655,461	19,773,787	426,626	0	20,200,413	455,048